

【入学時の児童の姿】 ○小学校生活を楽しみにしている。 ○友だちとかかわり合って協力したり、考えを出し合って工夫したりして活動している。 ○文字や数字に関心を持ち、積極的に使おうとしている。 ○新しい環境に不安感がある。				2026年度(令和8年度) 福山市立常金丸小学校 スタートカリキュラム				育成する力 ★【チャレンジ&チェンジする力】 ・自分のやりたいことに挑戦している。 ◆【自己理解力】 ・自分の良さに気付く。 ■【自己表現力】 ・自分の思いを相手に伝えることができる。							
月 期		4 5 6 7 Ⅰ				8 9 10 11 12 Ⅱ				1 2 3 Ⅲ					
育ってほしい児童の姿		★学校生活のきまりを知り、できることは、自分でやろうとしている。 ★自分のやってみたいことを見付けようとしている。 ■これまでの遊びや体験と学びを結び付け、言葉や数への興味を持ちながら気付きを言葉で伝えようとしている。 ◆先生や友だちにかかわりながら少しずつ慣れ、いっしょに活動しようとしている。				★学校生活のリズムを身に付け、自分のやるべきことをやり切ろうとしている。 ★自分のやってみたいことに積極的に挑戦しようとしている。 ■生活や学びの中で、言葉や数への興味を膨らませながら、思いや考えを伝えようとしている。 ◆進んであいさつをしたり話しかけたりして友だちや先生、他学年の人とかかわろうとしている。				■自分がする学習や仕事などを最後まで粘り強く取り組もうとしている。 ★自分が興味を持ったことに、自分なりの方法で挑戦しようとしている。 ・言葉の使い方や数の面白さを知り、学習の中で活用しようとしている。 ◆友だちや他学年の人、地域の人と積極的にかかわって、協力して活動しようとしている。					
生活科を中心とした単元構成		生「わくわくどきどきをみつけよう」「ともだちとなかよくなろう」 ・新しい友だちや学校にいる人たちとかかわり親しみを持つ。 国「おはなしききたいな」 算「数や形で楽しく」「10までのかず」 音「うたっておどってなかよくなろう」 体「体づくり運動遊び」 学「はじめてのがっこう」		生「つつがくろでみつけたよ」 ・通学路の様子に関心を持ち、安全を守ってくれている人やものに気付く。 行「交通安全教室」		生「おしとなかよくなろう」 ・見つけた生き物を飼い、生き物に親しみをもつ。 国「うみのかくれんぼ」 「しらせたいな見せたいな」 算「10より大きいかず」 「かたちあそび」 体「表現あそび」 道「げんきでね、あげはくん」		◆2年生の生活科「おもちゃ祭り」に招待してもらい、会の進め方やかわり方を学ぶ。  生「ようこそあきのテーマパークへ」 ・秋の自然物で遊ぶものを作り、園児を招待して遊ぶ。 国「日づけとよう日」 「てがみでしらせよう」 算「10より大きいかず」 「かたちあそび」 図「はこでつくったよ」 道「はしのうえのおおかみ」		生「かぞくだいすきだよ」 ・家族のよさに気付き、家族のためにできることを考えて行う。 国「てがみでしらせよう」 図「たいせつボックス」 道「サバンナの子ども」 学「そうじについて学ぼう」		生「きこえてきたよはるのあしあと」 ・身近な場所で、木や草を調べ、春の訪れに気付く。 音「きせつのうた」 図「おはなしすごろく」			
		生「がっこうとなかよくなろう」 ・学校探検を通して、校庭や教室の様子や役割に気付く。 国「なんていおうかな」 「どうぞよろしく」 「こんなものみつけたよ」 算「10までのかず」 道「あかるいあいさつ」		生「なつはおもしろいことがいっぱい」 ・夏の自然を使った遊びを通して、面白さや不思議さに気付き、楽しみながら遊びを工夫したり創り出したりする。 国「すきなこと なあに」 「こんなことがあったよ」 算「あわせていくつ」 音「たなばたさま」 図「すなやつちとなかよし」 「カラフルいろみず」 体「みずあそび」		生「たのしいねあきのあそび」 ・秋を見付けたり、秋の自然に触れたりして工夫して遊ぶ。 国「しらせたいな見せたいな」 「かずとかん字」 算「どちらがながい」 「たしざん」「ひきざん」 図「ならべてならべて」		生「さむくなくてもあそぼうよ」 ・冬を見付けたり、冬の自然を生かした遊びを工夫したり昔遊びに挑戦したりする。 国「いいこといっぱい1年生」 音「にほんのうたにしたしもう」 道「お正月」		図「たいせつボックス」 体「多様な動きをつくる運動遊び」 道「大すきだから」 学「六送会に向けて」 「1年をふり返って・2年生に向けて」 児「6年生を送る会」					
		生「さいばい」 ・自分が選んだ植物や野菜を植え、関心を持って観察したり世話をしたりする。 国「おおきくなった」 算「かずをせいりしよう」「10より大きいかず」「おなじかずずつわけよう」 生「あきとあそぼう」 図「カラフルいろみず」「せんせいあのね」													
環境構成		・幼児期の学びと結び付けるために、モジュール学習を行う。 「のびのびタイム」・・・始業前から1校時にかけて、自分のしたいことを選んで遊ぶ時間。 「にこにこタイム」・・・歌や手遊び、ゲームなどを通して、人とかかわりを深める時間。 「わくわくタイム」・・・生活科を中心に、合科、関連的な学習活動を行う時間。 「ぐんぐんタイム」・・・教科の学習内容を少しずつ行っていく時間。				安心できる環境 ・就学前にしていた遊びや活動を継続して行う。 ・担任だけでなく、複数でかわり、児童の安心につなげる。		使いたいものが手に取れる環境 ・文房具類や色画用紙、折り紙など、いつでも使えるようにしていく。		体験的な活動 ・自然や遊びの経験、地域の方々との触れ合いなど豊かな体験活動を行う。					
連携		保育所		5月 小学校運動会参加		11月 園児と一緒に秋見つけ		11月 園児を招待した秋のテーマパーク		2月 5年生との交流					
				4月 入学後の様子参観 6月 連携協議会 8月 保育参観・保育体験		10月 交流に向けた連携協議会 12月 年長児参観		2月 次年度に向けた連携協議会 3月 年長児参観個の連携							
		家庭	・スタートカリキュラムについてのねらいや意義等を伝え、不安感を取り除くとともに、保護者が学校生活に見通しをもって安心できるようにする。 ・学級通信や懇談会等で、児童の様子を伝える。				・学級通信で児童の様子やがんばり、児童が主体的に活動している様子を積極的に伝え、学校の目指す姿について理解をしてもらう。				・2年生につながるように、1年間の学びや成長を伝える。 ・次年度の入学説明会において、スタートカリキュラムの趣旨を説明し、理解を図る。				